

平成 28 年 2 月 28 日（日）施行

## 第 142 回 日商簿記検定試験 2 級 解説

### 第 1 問

- 消費税の税込方式により、本体価格に税率 8% を乗じた金額を売上高に計上する。  
計上額： 本体価格 ¥500,000 + ¥500,000 × 8% (税率) = ¥540,000
- 研究開発の目的で支出した金額を、研究開発費で処理する。したがって、実験専用の機器、研究開発の備品、研究員の給料は、研究開発費として処理する。  
研究開発費： ¥600,000 + ¥300,000 + ¥450,000 = ¥1,350,000
- 備品売却より受け取った手形は、営業上の債権ではないため、営業外受取手形として計上する。その手形が、決済されていなかったため、不渡手形へ振り替える。
- 買掛金を契約期日より前に決済した場合、仕入割引(営業外収益)として処理する。  
割引額： ¥7,000,000 × 0.1% = ¥7,000
- 仙台支店は、負担した一部費用を広告宣伝費として計上し、広告宣伝費の支払いは本店側で処理されているため、貸方に本店を計上する。  
仙台支店の負担額： ¥840,000 × 1/4 = ¥210,000

### 第 2 問

#### 1. 増資

増資した場合、資本金及び資本準備金が増加する。よって、

資 本 金： ¥800,000 × 60% = ¥480,000

資本準備金： ¥800,000 - ¥480,000 = 320,000

(借) 当 座 預 金	800,000	(貸) 資 本 金	480,000
		資 本 準 備 金	320,000

#### 2. 剰余金の配当および処分

利 益 準 備 金： ¥400,000 × 1/10 = ¥40,000

繰越利益剰余金： ¥400,000 + ¥40,000 = ¥440,000

資 本 準 備 金： ¥100,000 × 1/10 = ¥10,000

その他資本剰余金： ¥100,000 + ¥10,000 = ¥110,000

(借) 繰越利益剰余金	440,000	(貸) 未 払 配 当 金	400,000
		利 益 準 備 金	40,000
その他資本剰余金	110,000	未 払 配 当 金	100,000
		資 本 準 備 金	10,000

(借) 繰越利益剰余金	80,000	(貸) 別 途 積 立 金	80,000
-------------	--------	---------------	--------

#### 3. 吸収合併

合併の対価としての株式の交付 3,000 株 × @ ¥600 = ¥1,800,000

その他資本剰余金： ¥1,800,000 - ¥900,000 - ¥500,000 = ¥400,000

(借) 諸 資 産	×××	(貸) 諸 負 債	×××
		資 本 金	900,000
		資 本 準 備 金	500,000
		その他資本剰余金	400,000

## 4. 当期純利益

(借) 損	益	750,000	(貸) 繰越利益剰余金	750,000
-------	---	---------	-------------	---------

**第3問**

## 未処理事項

## 1. 貸倒れの処理

(借) 貸倒引当金	5,000	(貸) 売掛金	5,000
-----------	-------	---------	-------

## 2. 償却債権取立益

(借) 仮受金	2,000	(貸) 償却債権取立益	2,000
---------	-------	-------------	-------

## 3. 自動引落とし

(借) 通信費	7,500	(貸) 現金預金	7,500
---------	-------	----------	-------

## 4. 売上取消し処理

## ① 誤った仕訳

(借) 現金	6,000	(貸) 売上	6,000
--------	-------	--------	-------

## ② 誤った仕訳の取消し

(借) 売上	6,000	(貸) 現金	6,000
--------	-------	--------	-------

## ③ 正しい仕訳

(借) 現金	6,000	(貸) 前受金	6,000
--------	-------	---------	-------

## ④ 訂正仕訳：② ③の相殺

(借) 売上	6,000	(貸) 前受金	6,000
--------	-------	---------	-------

## 決算整理事項

## 1. 貸倒引当金の計上

(前T/B受取手形¥75,000+前T/B売掛金¥610,000-未処理事項1売掛金¥5,000)×1%

- (前T/B貸倒引当金¥8,000-未処理事項1貸倒引当金¥5,000) = ¥3,800

(借) 貸倒引当金繰入	3,800	(貸) 貸倒引当金	3,800
-------------	-------	-----------	-------

## 2. 期末商品の評価

期首商品棚卸高： 前T/B繰越商品より¥1,040,000

当期商品仕入高： 前T/B仕入¥8,400,000+仕入計上もれ¥8,500=¥8,408,500

期末商品帳簿棚卸高： 問題文より¥940,000+仕入計上もれ¥8,500+未処理事項4の商品原価¥4,900=¥953,400

期末商品実地棚卸高： 問題文より¥946,000+未処理事項4の商品原価¥4,900=¥950,900

棚卸減耗費： 期末商品帳簿棚卸高¥953,400-期末商品実地棚卸高¥950,900=¥2,500

## 仕入計上もれ

(借) 仕入	8,500	(貸) 買掛金	8,500
--------	-------	---------	-------

## 売上原価の計上

(借) 仕入	1,040,000	(貸) 繰越商品	1,040,000
繰越商品	953,400	仕入	953,400
棚卸減耗費	2,500	繰越商品	2,500

### 3. 未払費用の整理

期首の再振替仕訳

(借) 未払費用	150,000	(貸) 給料	140,000
		水道光熱費	10,000

当期末未払費用

(借) 給料	143,000	(貸) 未払費用	155,000
水道光熱費	12,000		

### 4. 長期前払費用

1年以内に費用化される部分を前払費用に振り替え、当期分を保険料として計上する。

前払費用： 前T/B長期前払費用¥48,000×12か月/24か月＝¥24,000

保険料： 前T/B長期前払費用¥48,000×1か月(平成28年3月)/24か月＝¥2,000

(借) 前払費用	24,000	(貸) 長期前払費用	26,000
保険料	2,000		

### 5. 有形固定資産の減価償却

建物の減価償却

期中取得分： ¥150,000÷30年×6か月/12か月＝¥2,500

以前取得分： ¥(前T/B建物¥1,200,000－期中取得分¥150,000)÷30年＝¥35,000

決算計上分： (¥2,500＋¥35,000)－計上概算額¥3,000×11か月＝¥4,500

備品の減価償却

償却率： 1÷8×200%＝25%

年間計上： (前T/B備品¥640,000－備品減価償却累計額¥436,000－計上概算額¥6,000×11か月)×25%＝¥67,500

決算計上分： ¥67,500－計上概算額¥6,000×11か月＝¥1,500

(借) 減価償却費	6,000	(貸) 建物減価償却累計額	4,500
		備品減価償却累計額	1,500

### 6. 借入金

返済期日は1年以内に到来するものを短期借入金、それ以外を長期借入金とする。

短期借入金： 残高¥600,000、返済期日 平成29年1月31日(1年以内返済) 利率2.4%  
 ¥600,000×2.4%×2か月(平成28年2月～平成28年3月)/12か月＝¥2,400

長期借入金： 残高¥1,000,000、返済期日 平成31年1月31日(1年以上返済) 利率3.6%  
 ¥1,000,000×3.6%×2か月(平成28年2月～平成28年3月)/12か月＝¥6,000

利息計上： ¥2,400＋¥6,000＝¥8,400

(借) 支払利息	8,400	(貸) 前払費用	8,400
----------	-------	----------	-------

### 7. 商標権の償却

残存償却期間： 10年－4年(平成23年4月1日～平成27年3月31日)＝6年

償却： 前T/B商標権¥120,000÷6年＝¥20,000

(借) 商標権償却	20,000	(貸) 商標権	20,000
-----------	--------	---------	--------

### 8. 賞与引当金の計上

期末支給見積額¥200,000－前T/B賞与引当金¥150,000＝¥50,000

(借) 賞与引当金繰入	50,000	(貸) 賞与引当金	50,000
-------------	--------	-----------	--------

## 9. 法人税等の計上

## 損益計算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位:円)

売上原価	8,495,100	売上高	10,394,000
給料手当	1,603,000	受取利息	20,000
旅費交通費	150,000	償却債権取立益	2,000
水道光熱費	102,000	当期純損失	443,300
通信費	87,500		
保険料	34,000		
減価償却費	105,000		
賞与引当金繰入	200,000		
支払利息	56,400		
貸倒引当金繰入	3,800		
商標権償却	20,000		
棚卸減耗費	2,500		
	10,859,300		10,859,300

損失が出ている場合には、法人税は課税されない。そのため、計上されている仮払法人税等は、未収還付法人税等として還付される。

(借) 未収還付法人税等	4,000	(貸) 仮払法人税等	4,000
--------------	-------	------------	-------

## 第4問

問1 仕掛品勘定から製品勘定へ振り替える仕訳

1個当たりの標準原価 ¥4,080 × 当月生産量 1,500 個 = ¥6,120,000 (標準額)

(借) 製	品	6,120,000	(貸) 仕	掛	品	6,120,000
-------	---	-----------	-------	---	---	-----------

問2 仕掛品勘定から原価差異勘定へ振り替える仕訳

標準額 ¥6,120,000 - 実際額 (直接材料費 ¥729,600 + 直接労務費 ¥1,812,000 + ¥3,890,000)  
= △ ¥311,600

(借) 原	価	差	異	311,600	(貸) 仕	掛	品	311,600
-------	---	---	---	---------	-------	---	---	---------

問3 製造間接費総差異

製造間接費標準配賦額：

1個当たりの製造間接費標準原価 ¥2,400 × 当月生産量 1,500 個 = ¥3,600,000

総差異： 標準配賦額 ¥3,600,000 - 実際発生額 ¥3,890,000 = △ ¥290,000 (不利差異)

問4 製造間接費総差異の分析

変動費率： 変動費 ¥2,500,000 ÷ 正常直接作業時間 1,000 時間 = ¥2,500/時間

固定費率： 固定費 ¥1,500,000 ÷ 正常直接作業時間 1,000 時間 = ¥1,500/時間

標準直接作業時間： 当月生産量 1,500 個 × 1個当たりの標準直接作業時間 0.6 時間 = 900 時間

予算差異：

(変動費率 ¥2,500 × 実際直接作業時間 920 時間 + 月間固定費予算 ¥1,500,000)

- 実際発生額 ¥3,890,000 = △ ¥90,000 (不利差異)

能率差異： 変動費のみで計算、要注意

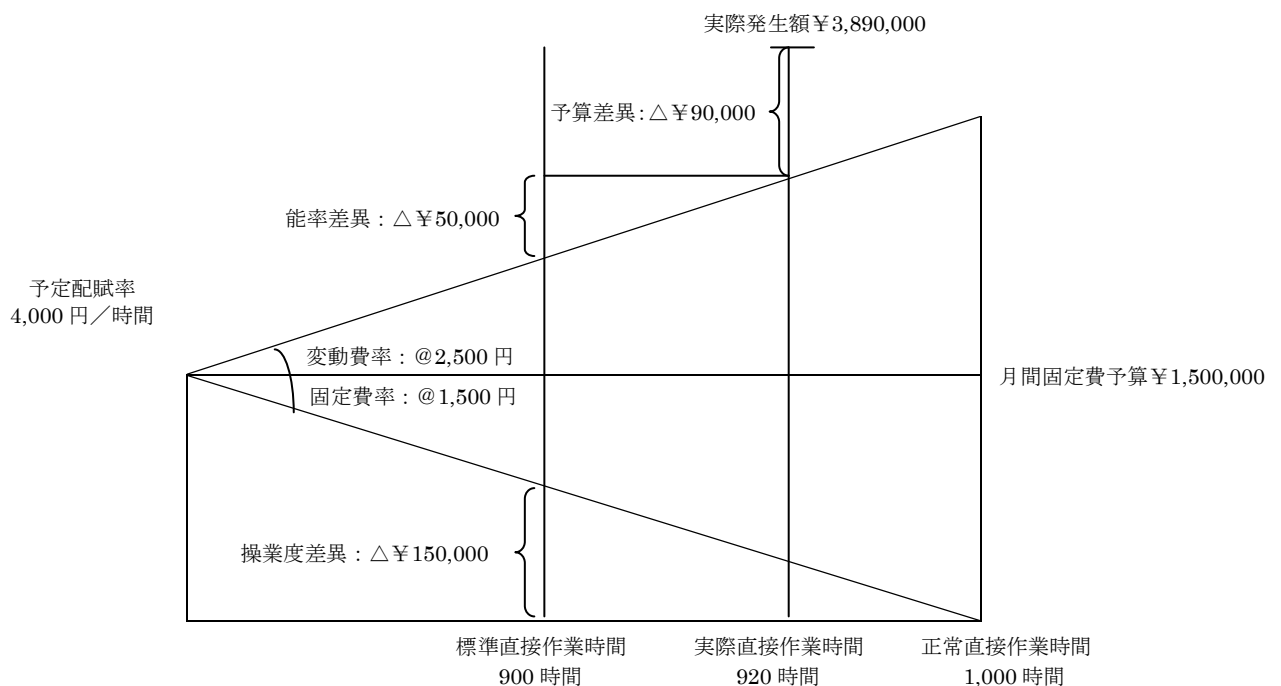
(標準直接作業時間 900 時間 - 実際直接作業時間 920 時間) × 変動費率 ¥2,500

= △ ¥50,000 (不利差異)

操業度差異：

(標準直接作業時間 900 時間 - 正常直接作業時間 1,000 時間) × 固定費率 ¥1,500

= △ ¥150,000 (不利差異)



## 第5問

第1工程：

		原料費 X (個)		
30,000 円	月初	200	完成 4,600	仕損費は完成品負担 940,000 円
970,000 円	当月	4,800		
			仕損 100	
			月末 300	60,000 円

月末仕掛品原価：  $(¥30,000 + ¥970,000) \div (200 \text{ 個} + 4,800 \text{ 個}) \times 300 \text{ 個} = ¥60,000$

当月完成品原価：  $(¥30,000 + ¥970,000) - ¥60,000 = ¥940,000$

		加工費 (個)		
40,000 円	月初	100 = $200 \times 50\%$	完成 4,600	仕損費は完成品負担 1,880,000 円
1,900,000 円	当月	4,750 = $4,600 + 100$		
		+ 150	仕損 100	
		- 100	月末 150 = $300 \times 50\%$	60,000 円

月末仕掛品原価：  $(¥40,000 + ¥1,900,000) \div (100 \text{ 個} + 4,750 \text{ 個}) \times 150 \text{ 個} = ¥60,000$

当月完成品原価：  $(¥40,000 + ¥1,900,000) - ¥60,000 = ¥1,880,000$

第1工程完成品総合原価：原料費 X ¥940,000 + 加工費 ¥1,880,000 = ¥2,820,000

→ すべて第2工程に投入

第2工程：

		前工程費 (個)		
300,000 円	月初 400	完成 4,800		2,995,200 円
2,820,000 円	当月 4,600			
		月末 200		

月末仕掛品原価：  $(¥300,000 + ¥2,820,000) \div (400 \text{ 個} + 4,600 \text{ 個}) \times 200 \text{ 個} = ¥124,800$

当月完成品原価：  $(¥300,000 + ¥2,820,000) - ¥124,800 = ¥2,995,200$

		原料費 Y (個)		
40,000 円	月初 400	完成 4,800		576,000 円
560,000 円	当月 4,600			
		月末 200		

月末仕掛品原価：  $(¥40,000 + ¥560,000) \div (400 \text{ 個} + 4,600 \text{ 個}) \times 200 \text{ 個} = ¥24,000$

当月完成品原価：  $(¥40,000 + ¥560,000) - ¥24,000 = ¥576,000$

		加工費 (個)		
63,500 円	月初 200 = 400 × 50%	完成 4,800		1,152,000 円
1,112,500 円	当月 4,700			
		月末 100 = 200 × 50%		

月末仕掛品原価：  $(¥63,500 + ¥1,112,500) \div (200 \text{ 個} + 4,700 \text{ 個}) \times 100 \text{ 個} = ¥24,000$

当月完成品原価：  $(¥63,500 + ¥1,112,500) - ¥24,000 = ¥1,152,000$

第2工程完成品総合原価：

前工程費 ¥2,995,200 + 原料費 Y ¥576,000 + 加工費 ¥1,152,000 = ¥4,723,200